

お客様

むけ

元気通信



〇〇さまこんにちは。お元気ですか？今年は更に春らしい季節を感じる間もなく、梅雨時期も飛び越えて一気に夏の様相となりました。それも尋常ではない暑さ。地域によっては深刻な水不足を引き起こし、稲の育成に深刻な被害を与えています。その一方では局地的に猛烈な雷雨をもたらし、浸水や土砂災害を多発させるなど、とにかく極端に振り切っている天候に対応が追い付かない、というのが今の状況かなと思います。台風は今のところはまだ発生数も強さもそれほどではありませんが、これも気候条件が変わってしまったためそうなっているようですが、ひとたび強い台風が発生すると強化する可能性があると言われているところでもあります。

自由度の高い旅程でのちよつとしたアクシデントなどはそれも旅の醍醐味として楽しかった思い出の一つにはなるのかもしれませんが、予定が決まっている行事や相手との約束がある場合はそうもいかないもので、これまでも季節によつては天候を考えながら出張の移動手段の選定やスケジュール組みをしてはいましたが、これからは季節関係なくそうなりそうです。

移動といえば昨今東北・山形新幹線の故障のニュースが続いていますよね。日本の新幹線をはじめとした鉄道や交通網の正確さと安全性については世界のトップクラスという定評ですが、ちよつとそれがゆらぎかねないのでは？と心配になりました。故障箇所や原因は異なっていたようですが、真因は突き止められてはいないようです。とはいえ、この尋常ではない暑さと高湿度が精密な機器に影響を与えないわけではないだろうなあ、と・・・これは新幹線に限らず精密機器を使用し外気の影響を受ける機械装置関連なども同じことが言えるわけで、これまでの使用環境条件などの見直しをしていかなければならないかもしれません。利便性を高め進化させていくことの恩恵を私たちは受けていますが、同時に環境の変化によるリスクも高まってきていることも認識させられる事象であると思われました。

さて、リスクと言えば、四月から四千品目超の食品関連の値上げが実施され、今年に入ってから八月までの公表分で、すでに累計一万品目超となったそうです。

値上げの要因としては最も大きいのが原材料、ついで物流、エネルギー・包装資材・そして人件費の上昇によるとなっています。（中でも人件費については前年より一五ポイント近く上回っているとのこと）確かにスーパーマーケットで食品や日用品をカートに入れ、それほどの品目でもないのにレジで会計をして、うわ、本当に高くなったなあと思えます。

給与の引き上げをせよと旗を振る政府の仰せに従って最大限給与の引き上げをしてきてはいますが、給与を引き上げれば当然のことながら税率が上がる。そして物価の上昇が著しいためになかなか上がった実感がないという状況だと思います。更に様々な規制がかかってきており、中小規模の企業に重くのしかかり、存続が出来なくなる可能性が高くなっています。これは日本の危機といっても過言ではないと思います。

社員とそこご家族の生活をより豊かで幸せにしていけるようにという思いで様々な制度をつくり出来る限りのことをしていますが、まったく実態が分かっていないと思えることを要求してくる政府（政治家？）に対し、正直なところ不信感だけでなく怒りさえ覚えます。それに応じることができない企業は淘汰されても構わないという意思の表れなのだろうと捉えられます。

この怒りをエンジンに、絶対に負けないという強い想いを持って臨んでいかなければならないと感じています。



■【とんぼ玉づくり】

総務部 部長 柳澤 直美

昨年の秋、初めて「とんぼ玉づくり」体験に参加した。

場所は沼垂テラス商店街の「taruhi glass works」。

レトロ感漂う、個性あふれるお店が集まる商店街にあるガラス工房。店内は日差しが入り明るく、窓際や壁にはオーナーが作った盃やアクセサリーが並んでいて、透きとおったガラスの色がとてもキレイだ。

まずは見本のとんぼ玉の中から作りたい物をイメージ。ベースの色は？、中に入れる模様どうする？、気泡入れる？など、決める事はシンプルなのだけどなかなか決まらない。

あれこれと迷った末にようやく決定。

バーナーに火をつけてもらい、左手に芯棒、右手にガラス棒を持って「では制作に入りましょう」。

バーナーでガラス棒を回しながら先端をあぶり、たら～と溶けてきたところを芯棒に巻き取っていく。途中で模様の星を乗せてまたあぶる。バーナーの炎を見つめクルクル、クルクル。「はい、後は冷やして出来上がりです。」ゆっくり冷やさないととんぼ玉が割れてしまうのだそう。小さいバケツに入った徐冷材（砂みみたいな物）に突っ込み作業は終了。所要時間は 30 分程度。

とんぼ玉が冷えるまで商店街にあるカフェでコーヒブレイク。一緒に参加した人と「楽しかったね～」なんて話しながら出来上がりを待つ。

冷えたとんぼ玉を芯棒から外してもらい、アクセサリーパーツを選び取り付け。かんざしにしてもらったが、なかなかいいんじゃない？ブルーベースの涼しげなかんざしのできあがり。

短い時間だったが日常から離れた作業が
思いのほか楽しく、また来ようかなあ…
などと考えながら帰路についた。



■ 切返機の衛生管理に・・・

突然ですけど、製麹で使用する切返機の使用後はどういう管理をされていますか？
清酒メーカー様に聞き取りをすると「酒造シーズン中は何もしない」という回答を結構耳にします。使い終わった後の切返機の内部は、お米の有機物や水分が付着し不衛生な状態になり、加えて温かい麹室内に保管されることがほとんどですので微生物の温床に成りかねません。と言いつつも切返機の内部は複雑で解体して洗浄するのも一苦労です。

そこでこの度ご紹介したいのが「ノアライトブルーハンディワイパー」です。しなやかで切れ難いので、複雑な切返機内部を常に新しい布感覚で拭き取りが可能です。また、拭き取り中にワイパーが切れても色付きなので異物の発見が容易です。

常に衛生的な麹を造って、スッキリとした上質な日本酒造りにお役立てください。
詳しくは、下の QR コードから商品ページを御覧ください。

文責：技術営業部 坂井 将之



コレいいね
と大好評！
ぜひお試しを！



スペイン特集

島貫 修一

スペイン語で胃腸科医院は、La Clinica de gastroenterologia: ラ クリニカ デ ガストロエンテロロヒアと長いです。ポリープは polipo: ポリポ、内視鏡は endoscopio: エンドスコピオ、内視鏡検査は endoscopia: エンドスコピア、手術は operacion: オペラシオン、
癌は cancer: カンセル、男性医師は medico: メディコ、女性医師は medica: メディカ。





健康診断の結果は・・・大変だ！



島 貴 修一

不健康診断の結果が来た。身体に悪い所がないか調べるのだから、不健康診断のほうが実情に合っていると思うのだけど、今回もコレステロール値が高いのだろうと思うながら検査報告書を見たら違った。大腸癌の便潜血検査でサンプル 2 個中の 1 個に陽性があり、要精密検査と書いてあった。

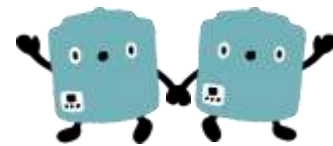
便潜血検査が陽性⇒痔になったことは無いから⇒大腸で出血⇒大腸癌⇒日本でも多くの人が死んでいる⇒終活・・・などと連想してしまったが、ネットで調べたら便潜血検査で陽性になっても必ずしも癌とは限らない。だったら早急に精密検査して潜血の原因をはっきりさせて、もしも癌だったら直ぐに治療すればいい。不安はあるけど時間との競争だから行動あるのみ。迷ってなんかいられない。早期発見・早期治療だ。

まずはネットで消化器科（胃腸科）探し。大病院ではなく消化器科クリニックを選択。理由は脳外科病院で経験したように大病院は混むのと、内視鏡検査・日帰り手術なら専門のクリニックでもできる。それどころか内視鏡検査・日帰り手術をセールスポイントにしているクリニックもあるくらいだ。そして市内のクリニックのホームページと口コミを参考にして選んだのは、40 年前に開業して今は息子さんも医師になり、親子二人で患者を診ているクリニック。40 年間続いているという事は地域の人達に信頼されている証になり、ベテラン医師の知見と若い医師の操る最新の機器の両方が揃っているはず。

さっそく検査報告書を持って訪問。医師から日常の便に血が付いているかと聞かれたが、洗浄便座（有名な商品名は書けない）なので拭いた紙を見ても判らないし、水洗タンクに洗浄剤が入っていて水が泡立っているので便が見えないと答えた。トイレを清潔にする便利な物が大腸癌の発見を妨げている事を知った。その後、検査前日の食事と当日の薬の飲み方の指導を受け、一日分の食品が入った箱と薬を受け取って帰宅した。

検査前日の日曜日の朝から準備が始まった。食べられるのは大腸検査食（と箱に書いてある）だけ、飲んでいいのは水とお茶だけ。箱を開けた時の感想は「え～、たったこれだけ？」で、全部食べても 832kcal しかない。成人男性は基礎代謝だけでも 1200kcal 必要なのに。朝食のレトルトの「鯛粥」はあっという間に食べ終わった。食後はエネルギー節約のため身体を動かさず、スペイン語の宿題に専念したが「あ～コーヒーが飲みたい」。

昼食はレトルトの「粥とチキンハンバーグ」。二品あるので量は増えたけど、「あ～野菜も食べたい」。午後からは部屋を掃除してエネルギー節約のため昼寝。3 時のおやつは「クリームを挟んだビスケットとりんご味のゼリー」で、朝も昼も粗食だった身体は甘い物を求めており、食べ終わった時に満足感と言うか満ち足りた気分になった。夕食はレトルトの「コーンポタージュ」だけで、美味しかったけど量が足りないし「あ～食後のフルーツも食べたい」。夜 9 時、起きていてもお腹が空くだけだからさっさと寝よう。



検査日の月曜日は検査終わるまで何も食べられない。朝 6 時にコップ 2 杯の水を飲んでから薬作りを始めた。プラスチック袋の中に 2 種類の粉薬が入っており、ここに水を入れて粉を溶かして「腸管洗浄剤」を 2L 作った。飲み方はコップ（180ml）2 杯の薬を 30 分かけてゆっくり飲み、飲み終わったら水をコップ 1 杯飲む。これを 1 サイクルとして 6 回繰り返して 3 時間で薬 2L と水 1L を飲む。便意を感じたらトイレに行き、行った時刻と便の状態（固形・泥・カスが混ざっている・透明）を記録する。

7時から飲み始めて 10 時に飲み終わり、その後も数回水を飲んだので午前中だけでトイレは 11 回行った。便意は普通の感じでお腹が痛くなる事も無かった。薬の味は塩味＋甘酸っぱい味で苦味は無いが、2L も飲むと途中で飲み飽きて「あ～コーヒーが飲みたい」。

午後 1 時 30 分、検査用のハーフパンツ（後ろ側に社会の窓がある）に着替え、検査台の上で左向きに横になり膝を曲げる。お尻側に医師、足元に看護婦さんが 2 人で上を見るとモニターがあった。内視鏡を入れる時も大腸内部を進んで行く時も痛みは無いが、腸を膨らますために CO2 ガスを注入すると、お腹が張ってくる。大腸の始まり部分まで内視鏡が行ったら、そこからゆっくり戻りながら写真を撮りながら検査して行く。モニターで自分の大腸の中を見た感想は「ホルモンと同じだ」。ここまでは看護婦さんは待機している。

戻り始めてまもなくポリープが 2 つ見つかり、摘出する手術が始まった。生理食塩水を注射針で注入する⇒スネア（ワイヤーの輪）でポリープを切断したらポリープを身体の外に出す⇒生理食塩水で傷口を洗う⇒電気メスで止血する⇒止血クリップで傷口を挟む⇒最後にクリップを切り離して腸内に残す。これらの工程を医師と看護婦さんが手際よく進めて行った。この後でもう少し大きいポリープが見つかり同様に摘出したので、見つかったポリープは 3 つで便潜血の原因は 3 つ目の少し大きいポリープだった。

モニターで見ていると、ポリープが切断されるとぱっと血が出る。電気メスで傷口を焼いて止血すると煙が出る。止血クリップが腸壁にぶら下がっている。自分の大腸の中でこういう生々しい手術が今まさに行われているのに、痛みも腸内で機器が動いている感覚も何も感じない。まるでテレビで内視鏡手術の番組を見ているようだった。

ポリープは摘出したがこれで終わりではない。ポリープを顕微鏡で見て癌細胞の有無を調べる病理検査の結果を待たねばならない。2 週間後に再びクリニックを訪ね、裁判官の判決を待つような気分で行った（診察室）に入った。そして院長先生の判決は無罪（ポリープは良性で癌細胞は無い）。あ～良かった。帰りにショートケーキ買って夕食後に食べよう。

このクリニックを選んだのは正解だった。検査・手術前の説明は丁寧だし、術中も医師（息子さん）が状況説明をしながら進めて行くので、緊張しないで落ち着いていられた。ポリープを切断・摘出する時も、医師の的確な指示に 2 人の看護婦さんが手際よく動き、3 人のチームワークは熟練していると感じた。院長先生は穏やかな話し方で解りやすく説明してくれた。これからも胃腸に問題が起きたらこのクリニックの世話になろう。